

セーフコミュニティ再認証に向けて事前指導を実施します

今年は再認証取得の前年にあたり、認証を取得してからの取り組みやその成果を審査員に確認していただき、今後の活動に向け助言・指導をいただく事前指導を下記の日程で実施します。

- ▶とき 10月20日(金)・21日(土)
- ▶ところ まつばらテラス(輝)

※事前指導の様子は、広報まつばらや市ホームページなどで掲載していきます。

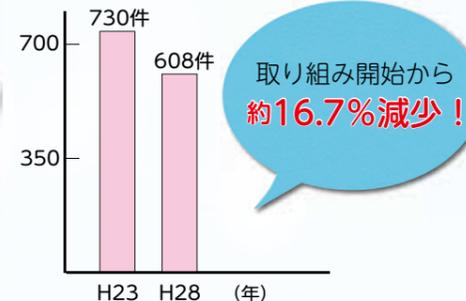
【自殺予防対策】

ゲートキーパー養成講座の延べ受講者数
(提供：松原市人権交流室)



【交通安全対策】

交通事故件数
(出典：警察統計)



【子どもの安全対策】

0歳から18歳までの救急搬送件数
(出典：救急搬送データ)



【災害時の安全対策】

防災訓練の参加者数
(提供：松原市危機管理課)



【犯罪の防止対策】

街頭犯罪認知件数
(出典：警察統計)



【高齢者の安全対策】

認知症サポーター養成講座の延べ受講者数
(提供：松原市高齢介護課)



セーフコミュニティ活動による成果

セーフコミュニティとは、WHO(世界保健機関) セーフコミュニティ(認証センター)が推進する、安心・安全なまちづくりの国際認証制度です。市では、これまでの地域活動や事業を活かしながら、予防に重点を置き、科学的な分析と、地域住民、関係機関、行政などの分野を超えた連

携・協働により、安心・安全なまちづくりに取り組んでおり、市の重点課題として「子どもの安全」、「高齢者の安全」、「交通安全」、「災害時の安全」、「自殺予防」の6つを設定しています。それぞれの課題に対し対策委員会を設置し、地域住民、各種団体との協働で予防活動を進めることにより、さまざまな成果が現れてきています。

▼問合せ 市民協働課

セーフコミュニティとは？

松原市のセーフコミュニティと インターナショナルセーフスクールの活動



インターナショナルセーフスクール認証に向けた現地審査を実施します

いよいよ認証取得に向けた審査の年となりました。事前の指導・助言により改善した点を含め、安心・安全な学校づくりを目指してきた3年間の各校の取り組みが、下記の日程で審査されます。

- ▶とき 11月13日(月)・14日(火)
- ▶ところ 松原第三中学校
布忍小学校
中央小学校

※現地審査の様子は、広報まつばらや市ホームページなどで掲載していきます。

インターナショナルセーフスクール認証に向けた事前指導を受けました

平成29年1月17日(火)・18日(水)に、海外から審査員をお招きしての事前指導が行われました。

- 3校の児童生徒や教職員からの取り組みの報告を聞いた審査員からは、
- 安心・安全な学校づくりにむけた取り組みがとても充実していること
 - 学校だけでなく、地域や保護者と協働した取り組みになっていること
 - 児童生徒の皆さんが、ISS認証に向けて主体的に活動していることなど、高い評価を得ることができました。



インターナショナルセーフスクールでの取り組み

市では、平成25年11月に大阪初となるセーフコミュニティ国際認証を取得してから、約4年になろうとしています。現在はセーフコミュニティ再認証取得に向け、取り組みをより効果的なものとするため継続的に活動を進めています。また、未来を担う子どもたちが、安心して過ごせる学校づくりを進める活動(インターナショナルセーフスクール)も行っており、今回の特集では、この2つの活動について紹介いたします。

市内では、第三中学校区の3つの小・中学校(松原第三中学校、布忍小学校、中央小学校)が、日本で初めてとなる校区での同時認証取得に向けての取り組みを進めています。今後、市内の学校に広がっていきます。

▼問合せ 教育推進課

インターナショナルセーフスクールとは？

インターナショナルセーフスクール(International Safe School)とは、(体および心の)けがおよびその原因となる事故、いじめ、暴力を予防することによって、安心・安全な学校づくりを進める活動です。

市では、平成25年11月に大阪初となるセーフコミュニティ国際認証を取得してから、約4年になろうとしています。現在はセーフコミュニティ再認証取得に向け、取り組みをより効果的なものとするため継続的に活動を進めています。また、未来を担う子どもたちが、安心して過ごせる学校づくりを進める活動(インターナショナルセーフスクール)も行っており、今回の特集では、この2つの活動について紹介いたします。